

生涯学習だより

鶴田町教育委員会
社会教育課
☎ 59-2022
FAX 59-2085



派米事業報告

7月20日に出発した鶴田中三年
濱島生美さん・宮内結希さんが、
約一ヶ月間のプログラムを終え、
8月20日無事帰国しました。

ローダイという街にホームステイした二人は、計画されたプログ

ラムを難なくこなし、二人にとつては、あつという間の一ヶ月だったようです。

今回経験したことや学んだことを生かして、今後、学校や地域でますます活躍してくれることを期待します。

詳しい成果は、今後発表の場を設けて報告してもらう予定です。ここでは、帰国間もない二人の感想を報告します。

Q: つらかったことは?
A: スティ先のホストマザーやホストファザーに質問され、答えるが答えがうまく伝わらず、必死に説明していたときにつかれる「ため息」がつらかった。

A: 英語は、だいたい通じたが、自分の言いたいことが全部伝えられないことがあった。

A: スティ先の親戚の方とも交流したが、紹介されたとき名前が長くて覚えられず、聞き返すのも失礼と思い困った。

A: 話し方が早い。(特に子ども)

A: 英語を話すことには慣れていたが聞き取る方が大変だった。

Q: うれしかったことは?
A: 外国の友達だけでなく、日本の友達がたくさんできたこと。

A: ホストマザーの言ったことがわからず、ホストファザーがジエスチヤーを交えるがそれでもわからないので、必死に辞書で探して見つけた単語が伝わったときは、お互いに感動した。

A: みんなフレンドリーで楽しい一ヶ月だった。

Q: 困ったことは?
A: 英語は、だいたい通じたが、自分の言いたいことが全部伝えられないことがあった。

A: 人によってアクセントが違いました。

A: 簡単なことが聞き取れないことがあつた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つた。

A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: 英語をもつと勉強しようと思つた。

A: お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、行つて「本当の自分」を伝えた。

A: 日常会話以外の専門的なことを話したい。

O: 英語はすごい!

お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、国境を越えた共通語「英語」のすごさ・すばらしさを感じた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つては、かなり苦労しているところもあるようでした。

今回の会の中心は、しゃべり場(話し合い)で「地域で、自分たちにできることは何か。」をテーマに二日間で三時間近く情報交換をしました。

そこには、なかなかつたグループ内の雰囲気も、二日間の活動を通して、お互い意見を話せるようになつて意見交換が進んだようでした。

参加者の四分の三が高校生とうこともあって参加した中学生は、やや緊張気味でしたが、自分なりに意見は、発表でき二日間を楽しめました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

北薩ブロックジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会開催

8月23日～24日の二日間、川内市立少年自然の家を会場に、北薩ブロックジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会が開催されました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

8月23日～24日の二日間、川内市立少年自然の家を会場に、北薩ブロックジュニア・リーダー及び高校生クラブ等交流大会が開催されました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

Q: 今後は?
A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: お互いの友達だけでなく、日本

の友達がたくさんできたこと。

A: ホストマザーの言ったことがわからず、ホストファザーがジエスチヤーを交えるがそれでもわからないので、必死に辞書で探して見つけた単語が伝わったときは、お互いに感動した。

A: みんなフレンドリーで楽しい一ヶ月だった。

O: 英語はすごい!

お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、国境を越えた共通語「英語」のすごさ・すばらしさを感じた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つては、かなり苦労しているところもあるようでした。

今回の会の中心は、しゃべり場(話し合い)で「地域で、自分たちにできることは何か。」をテーマに二日間で三時間近く情報交換をしました。

そこには、なかなかつたグループ内の雰囲気も、二日間の活動を通して、お互い意見を話せるようになつて意見交換が進んだようでした。

参加者の四分の三が高校生とうこともあって参加した中学生は、やや緊張気味でしたが、自分なりに意見は、発表でき二日間を楽しめました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

Q: 今後は?
A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: お互いの友達だけでなく、日本

の友達がたくさんできたこと。

A: ホストマザーの言ったことがわからず、ホストファザーがジエスチヤーを交えるがそれでもわからないので、必死に辞書で探して見つけた単語が伝わったときは、お互いに感動した。

A: みんなフレンドリーで楽しい一ヶ月だった。

O: 英語はすごい!

お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、国境を越えた共通語「英語」のすごさ・すばらしさを感じた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つては、かなり苦労しているところもあるようでした。

今回の会の中心は、しゃべり場(話し合い)で「地域で、自分たちにできることは何か。」をテーマに二日間で三時間近く情報交換をしました。

そこには、なかなかつたグループ内の雰囲気も、二日間の活動を通して、お互い意見を話せるようになつて意見交換が進んだようでした。

参加者の四分の三が高校生とうこともあって参加した中学生は、やや緊張気味でしたが、自分なりに意見は、発表でき二日間を楽しめました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

Q: 今後は?
A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: お互いの友達だけでなく、日本

の友達がたくさんできたこと。

A: ホストマザーの言ったことがわからず、ホストファザーがジエスチヤーを交えるがそれでもわからないので、必死に辞書で探して見つけた単語が伝わったときは、お互いに感動した。

A: みんなフレンドリーで楽しい一ヶ月だった。

O: 英語はすごい!

お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、国境を越えた共通語「英語」のすごさ・すばらしさを感じた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つては、かなり苦労しているところもあるようでした。

今回の会の中心は、しゃべり場(話し合い)で「地域で、自分たちにできることは何か。」をテーマに二日間で三時間近く情報交換をしました。

そこには、なかなかつたグループ内の雰囲気も、二日間の活動を通して、お互い意見を話せるようになつて意見交換が進んだようでした。

参加者の四分の三が高校生とうこともあって参加した中学生は、やや緊張気味でしたが、自分なりに意見は、発表でき二日間を楽しめました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

Q: 今後は?
A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: お互いの友達だけでなく、日本

の友達がたくさんできたこと。

A: ホストマザーの言ったことがわからず、ホストファザーがジエスチヤーを交えるがそれでもわからないので、必死に辞書で探して見つけた単語が伝わったときは、お互いに感動した。

A: みんなフレンドリーで楽しい一ヶ月だった。

O: 英語はすごい!

お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、国境を越えた共通語「英語」のすごさ・すばらしさを感じた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つては、かなり苦労しているところもあるようでした。

今回の会の中心は、しゃべり場(話し合い)で「地域で、自分たちにできることは何か。」をテーマに二日間で三時間近く情報交換をしました。

そこには、なかなかつたグループ内の雰囲気も、二日間の活動を通して、お互い意見を話せるようになつて意見交換が進んだようでした。

参加者の四分の三が高校生とうこともあって参加した中学生は、やや緊張気味でしたが、自分なりに意見は、発表でき二日間を楽しめました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

Q: 今後は?
A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: お互いの友達だけでなく、日本

の友達がたくさんできたこと。

A: ホストマザーの言ったことがわからず、ホストファザーがジエスチヤーを交えるがそれでもわからないので、必死に辞書で探して見つけた単語が伝わったときは、お互いに感動した。

A: みんなフレンドリーで楽しい一ヶ月だった。

O: 英語はすごい!

お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、国境を越えた共通語「英語」のすごさ・すばらしさを感じた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つては、かなり苦労しているところもあるようでした。

今回の会の中心は、しゃべり場(話し合い)で「地域で、自分たちにできることは何か。」をテーマに二日間で三時間近く情報交換をしました。

そこには、なかなかつたグループ内の雰囲気も、二日間の活動を通して、お互い意見を話せるようになつて意見交換が進んだようでした。

参加者の四分の三が高校生とうこともあって参加した中学生は、やや緊張気味でしたが、自分なりに意見は、発表でき二日間を楽しめました。

川薩地区・出水地区・伊佐地区三地区の子ども会育成連絡協議会が主催ですが、大会の企画・立案は高校生クラブ会員が実行委員会を設置し、話し合いを重ね、当日の運営にもあたっていました。

本町からは二名の中学生が参加しました。

Q: 今後は?
A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: 英語をもっと勉強しようと思つた。

A: お互いの友達だけでなく、日本

の友達がたくさんできたこと。

A: ホストマザーの言ったことがわからず、ホストファザーがジエスチヤーを交えるがそれでもわからないので、必死に辞書で探して見つけた単語が伝わったときは、お互いに感動した。

A: みんなフレンドリーで楽しい一ヶ月だった。

O: 英語はすごい!

お互い母国語ではない英語で、スペインの子どもと話せたことが、国境を越えた共通語「英語」のすごさ・すばらしさを感じた。

A: 英語をもっと学んでもう一度

つては、かなり苦労しているところもあるようでした。

今回の会の中心は、しゃべり場(話し合い)で「地域で、自分たちにできることは何か。」をテーマに二日間で三時間近く情報交換をしました。

そこには、なかなかつたグループ内の雰囲気も、二日間の活動を通して、お互い意見を話せるようになつて意見交換が進んだようでした。